

兵庫の保育

題字は齋藤知事

2024.1.10 第109号

兵庫の新たなステージへ

兵庫県知事

齋藤元彦



新年あけましておめでとうございます。

昨年は、新型

コロナウイルス感染症が5類に移行し、社会経済活動が正常化しました。その一方で、物価高騰や円安は依然として私たちの暮らしに影響を及ぼしています。

こうしたなかでも、阪神タイガース、オリックス・バファローズ、ヴィッセル神戸の活躍は、私達に感動を与え、地域に元気をもたらしてくれました。

選手達のはつらつとしたプレーのように、令和6年の県政も、だれもが夢や希望を持って挑戦できる社会をめざし、「攻めの県政」を展開する一年にしたいと思えます。

まずは、若者・Z世代への支援です。

兵庫県立大学・大学院の無償化や奨学金返済支援の拡充など、結婚・出産のハードルにもなっている教育費の負担を軽減します。また、海外への留学等を支援し、国際視野を得る機会を広げます。保育・子育てサービスの充実、不妊治療支援や若い世代に向けた住宅支援の充実など、兵庫で子どもを生み、育てたいという希望を叶える環境づくりも進めます。

高齢者や障害のある方たちが安全安心に暮らせる、共生社会を実現します。

特殊詐欺被害が過去最悪のペースで増加するなか、被害者の8割を占める

高齢者を被害から守るため、全国一の規模で集中的に対策を強化します。自転車ヘルメットの購入支援を行い、自転車死亡事故の減少につなげます。また、年齢や障害の有無に関わらず安心して旅行ができるユニバーサルツーリズムや、パラスポーツの普及に取り組みます。団塊世代のすべてが後期高齢者となる2025年を見据え、健康づくりや地域医療構想の推進にも注力します。

地域のポテンシャルを活かし、兵庫の持続的発展につなげます。

人と環境にやさしい農業、革新に挑む地場産業、地域に根付く芸術文化など、兵庫各地の人々の営みには、世界が持続可能な発展を遂げるための多くのヒントがあります。大阪・関西万博機に、こうした現場に国内外の人々を誘う「ひょうごフィールドパビリオン」の取組を加速します。また、脱炭素社会実現の鍵となる水素エネルギーの活用や、有機農業の拡大に向けた担い手育成など、持続的な成長を支える取組を先導します。

県政推進にあたり、現場主義の徹底と対話重視の姿勢に変わりはありません。これまで以上に、現場に足を運び、地域の皆様との対話から出てくる課題やニーズを積極的に施策に反映していきます。

兵庫の新たなステージに向け、果敢に取り組んでまいりますので、皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



新年あけましておめでとうございます

ごぞいいます

兵庫県保育協会



新年のごあいさつ



新年明けましておめでとうございます。令和6年の新春を健やかに迎えられることを謹んでお慶び申し上げます。

兵庫県保育協会の皆様方には、昨年も、子育て家庭に対する支援並びに保育の質の向上にご尽力を賜り、厚く御礼申し上げます。

世界中で猛威を振るった新型コロナウイルスは、昨年5月8日、感染症法上の分類が「5類」に移行されました。全国各地で多くのイベントが通常開催となり、また、インバウンド需要の回復に伴い、多くの外国人観光客が訪れ、まちや観光地に賑わいと活気が戻りました。

4年ぶりに開催された「第50回神戸まつり」には、私もパレードに参加し、兵庫五国の様々な魅力を多くの観衆にPRすることができ、声出し応援が復活した「神戸マラソン2023」では、県民・市民の温かい声援に、多くのランナーが勇気づけられました。

14年ぶりに本県で開催された「兵庫デスティネーションキャンペーン」では、「食」と「体験」をテーマにした多彩な取組を県内各地で展開し、全国

兵庫県議会議長 内藤兵衛

から多くの観光客をお迎えするなど、マスクを外した多くの輝く笑顔に接する機会が増え、感動を覚えた1年となりました。

そのような中、昨年10月28日に丹波篠山市で開催された「兵庫県保育大会」に出席させていただきました。大会では、コンテストの受賞者が制作した保育の作品を拝見しました。いずれも楽しみながら大切なことを学べる工夫が施されており、保育者の熱心な思いが伝わる作品の数々に感銘を受けたところです。

明日の兵庫を担う子どもたちのために



新年あけましておめでとうございます。兵庫県保育協会

会の会員の皆様には、子どもたちの健全やかな成長のために、日々、子どもや保護者に寄り添った、保育・幼児教育等でご尽力を賜りまして、心から感謝と敬意を申し上げます。

さて、昨年4月に「こども家庭庁」

乳幼児期の保育は、子どもの生涯にわたる人格形成や教育の基礎を培うもの、また、働く男女の就労支援として重要なものであり、コロナ禍の際には、保育の現場の方々が社会を支えるエッセンシャルワーカーとして必要不可欠な存在であることが再認識されました。これからも皆様方が保育現場の要として、より一層ご活躍いただくことを期待いたします。

さて、「躍動する兵庫」の実現に向けた歩みは、本年も緩めることなく、一層前に進めなければなりません。若者・Z世代への支援を大きな柱とした「攻めの県政」に踏み出すとともに、来年に迫った「2025大阪・関西万博」に向けては、本県独自の取組である「ひょうごフィールドパビリオン」

のコンテンツの更なる磨き上げや、県内での機運を一層高めていくことが求められます。

兵庫県福祉部長 生安 衛

が発足し、6月には異次元の少子化対策に向けた「こども未来戦略方針」、12月には「こども大綱」と「こども未来戦略」が策定されました。

これらの方針により、保育サービスの一層の充実に向けて、職員配置基準等の改善や、こども誰でも通園制度の本格実施などの動きが加速化されるものと感じています。

一方、本県の令和4年の合計特殊出

生率は1.31と、前年の1.36から0.05ポイント低下する下降傾向が続いています。少子化の進行は、担い手不足や地域社会の活力の低下など、様々な社会的な影響が懸念されます。

そのために、県としては、子どもを産み育てやすい兵庫を目指して、出会いや結婚支援、良好な保育環境づくりをはじめとした子育て支援の充実など、切れ目のない支援に総合的に取り組めます。そして、これから結婚・子育てをしようとする若者・Z世代が安心して結婚や子育て等の将来設計を描ける環境の創出にも重点を置いた施策を展開してまいります。

また、「安心して子育てできる兵庫」の実現に向けては、引き続き、結婚・妊娠・子育て・教育・しごとまで、多岐にわたる切れ目ない支援を、総合的に展開していくとともに、県議会といえども、保育の「受け皿の拡大」、「人材の確保」、「質の確保」を図るため、実効ある施策の推進に全力で取り組んでまいります。

結びに、これからも県議会の活動に一層のご理解とご協力をお願い申し上げますとともに、本年が皆様にとりまして幸せで実り多く、大いなる飛躍の年となりますことを心よりお祈りし、新年のご挨拶といたします。

生率は1.31と、前年の1.36から0.05ポイント低下する下降傾向が続いています。少子化の進行は、担い手不足や地域社会の活力の低下など、様々な社会的な影響が懸念されます。

特に、今年は「ひょうご子ども・子育て未来プラン」の改定の年でありま
す。保育現場の皆様や子どもたちの意
見を十分に拝聴しながら、新たなプラ
ンの検討・策定を進めていきます。
今後は、こども誰でも通園制度など
の新たな事業の実施に向けて、市町と
の連携を一層強化しますほか、地域に
おいて様々な子育て支援等を担う保育
所や認定こども園の多機能性に関する



宝塚支部・バラホーム保育所長 為谷 智恵美

副会長就任のご挨拶

令和5年5月29日の定時総会にて、
兵庫県保育協会副会長に就任いたしま
した。宝塚支部バラホーム保育所の
為谷智恵美と申します。平成30年から
兵庫県保育協会の理事をさせて頂いた
く中で、私自身も課題と認識しており
ました。実習生についてのアンケート
調査を、調査研究委員長として、会員
の皆様方のご協力のもと実施いたしま
した。実習の中で、保育者になる夢を
断念してしまう学生が一人でも減少す
るように、研修の実施などを通して今
後も取り組んで参ります。

実習の問題ばかりでなく、保育業界
全体、また各地域においても、課題
はまだまだ山積みです。会員の皆様
のお声を頂戴しながら、課題解決や、
保育士・保育教諭の地位向上に向け

調査・研究・発信等を通じて、未来を
見据えた支援をしていきます。
さらに、保育所や認定こども園のも
つ様々な機能やポテンシャルの向上に
繋がる支援を継続・拡充させるとも
に、現場の皆様の声もこども家庭庁等
に届けながら、保育行政の一層の充実
を図ってまいります。
これからの保育所や認定こども園に
求められる役割と期待は益々大きな

て、微力ではございますが尽力して参
ります。
70年以上の歴史を持つ兵庫県保育協

国の情勢について

高砂支部・正蓮寺こども園園長 高谷 俊英 (副会長)

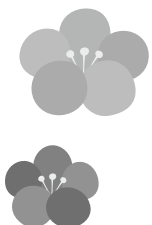
昨年末に令和6年度の保育にかかる
政府予算案が確定しました。特に来年
度は国が定める少子化対策の加速化プ
ラン（3年間）の初年度にあたりま
すので、大きな改正が予算上でも提案さ
れています。中でも今後の保育の在り
方に大きく影響する「こども誰でも通
園制度（仮称）」については、令和5

るものと感じております。
つきましては、明日の兵庫を担う子
どもたちのために、皆様とともに、こ
れからも手を携えて、取り組みを積み
重ねていきたいと考えています。
結びにあたりまして、兵庫県保育協
会のますますのご発展と会員の皆様方
のご健勝でのご活躍を心からお祈り申
し上げます。本年もどうぞよろしくお
願いいたします。

会は、会員の皆様の現場の声に寄り添
い、より求められる情報の迅速な提供
や、研修会の開催を進めています。私
自身もそのお手伝いをさせて頂いたし
ながら、伊達会長のサポートをいたし
ます。会員の皆様方のご理解、ご協力
をお願いし、私の就任のご挨拶とさせ
ていただきます。

年度の補正予算で計上されることに
よって5年度内からの試行的事業のス
タートとなりました。この制度につい
ては令和8年度から、すべての自治体
において実施可能とすべく、根拠とな
る法令や運用にあたってのシステム構
築が令和7年度までの間でなされるこ
ととなっております。それまでにすべて

の園で受け入れ体制が整うこととなる
訳ではありませんので、施設ごとに市
町との協議の上、実施・不実施を決定
し事業の認可・確認の手続きに進んで
いくこととなります。ただ、今後の少
子社会において責任ある役割を担うた
めには、就園児に対しての保育をやっ
ていけば良いという時代は過ぎ去った
と考えてもよく、それぞれの施設の現
状と将来を見ずえながら各自ご判断い
ただくこととなります。次に国から示
されました76年ぶりの保育士配置基準
の改善です。この件はすでに実施して
いる3歳児の加算措置と同様の加算を
4・5歳児においても公定価格上実施
するとともに、いわゆる「最低基準」
も3歳児15対1、4・5歳児25対1に
改善したうえで、人材確保難の間（当
分の間）、従前の配置基準でも可能と
するものです。この4・5歳児への加
算については、「チーム保育」への加
算との併給を受けることができな
いことに注意が必要です。そのほかにも
令和6年度から実施される「こども大
綱」に基づく施策が予算成立後多岐に
わたり実施されていきますので、折に
触れてお話をさせて頂いただければと
思っています。



部長・委員長からの びあこやっし

公立施設部会 部長 佐藤美保

(明石支部・王子保育所所長)



令和2年4月より明石市立江井島保育所にて所長として着任し、これまでやってまいりました。コロナ禍における行動制限が行われるのとはほぼ同時の着任でした。子どもはもちろんですが、保護者の方々や現場の保育士のいろいろな不安を受け止めつつ、自分に何ができるのかを模索し、保育所運営をすすめていったのを覚えています。今まではかなり違う運営を求められました。密にならないように工夫しながらの行事、密にならないを得ないのであきらめた行事、新たな生活習慣、いったんとりやめた生活習慣、数え上げるときがあります。

令和5年4月、公立施設部会長の任を拝命し、兵庫県や全国のたくさんの方と施設長と交流できるように、様々なご意見や情報を頂戴できるようにしました。不適切保育・保育士不足・ICT化・

これまでの経験と、各部会・委員会で何に
取り組んでいるか、また、これからのよう
な取り組みを行っていくのか、部長・委員
長から抱負等を述べていただきました。

職場環境……、私たちの周りには様々な問題があります。皆様方に教えを請いながら、私自身もお役に立てるよう頑張っていきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

民間施設部会 部長 藤原和則

(三木支部・あけぼの認定こども園園長)



「新型コロナウイルス感染症後の施設長等研修会をどうするのか?」
就職フェアはどうする?」本年度のスタートはそんな会話から始まりました。

新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行したが、それまでのように宿泊研修とするのか、研修のみとするのか。幹事間で何度も協議を重ねてまいりました。本年度は食事を兼ねた情報交換会を行い、会員のニーズ、動向をキャッチしようということとなりました。また就職フェアについても5月に開催をさせていただきました。どちらも想定以上のご参加をいただき、計画を立てた者としては、本当にうれ

認定こども園部会 部長 三倉克仁

(淡路支部・洲本こども園施設長)



認定こども園部会の部会長としています、淡路支部の三倉克仁です。部会は協会加盟施設の公民の認定こども園で構成されており、平成25年に部会が発足され10年が過ぎ、今では施設数も260園となりました。

しい限りでした。保育を取り巻く環境が日々変化する昨今、新しい年を迎え、改めて民間施設に求められる事が何なのかを会員の皆様と一緒に研修会や情報交換会で探りながら、解決の一助となれるように活動していきたいと考えておりますので、今後ともご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

近年、目まぐるしく変革が起こっている保育業界において、教育・保育の質の向上はもちろん、地域における子育て支援の取り組みや小学校との接続、また認定こども園ならではの制度について研鑽を深め、部会員だけでなく協会全体にとって有益情報を発信できるように考えています。
現在は部会の中から部会総会にて幹事を選出していますが、今後は各地区への迅速な情報提供も考え、地区や支部からの代表幹事の選出も検討していきます。

保育士部会 部長 高橋雄也

(加古川支部・加古川ひまわり保育園園長)



兵庫県保育協会
で保育士部会の部会長をしています、加古川ひまわり保育園、園長の高橋雄也と申します。園長になって10年目になり、今年度からは加古川支部の支部長も兼ねています。部会長になってからは、実習生の受け入れてびきの作成に携わり、公立・民間園の様々な意見を取り入れ、何度も検討や修正を重ね、実習生受け入れアンケートを参考にしながら、2年間かけて形にでき、会員園にお届けできた事が大きな経験となりました。

これからも皆様のお役に立てるよう頑張っていきたいと思います。よろしくお願いします。

保育士部会では、保育人材確保と定着を目指す。より質の高い保育人材を育成する。実習生の受け入れてびきの啓発広報活動をする。を目標に、てびきを使った、実習指導担当者育成研修会や全国保育士会が出版している「人権擁護のためのセルフチェックリスト」を使った人権研修を実施しています。微力ではありますが、協会のお役に立てればと思っています。今後とも、よろしく申し上げます。

青年保育者部会

（明石支部・すみよしこども園園長）



部会長 西窪 千佳
兵庫県保育協会
青年保育者部会長の
西窪千佳と申し
ます。

私は、明石市にて社会福祉法人美友会の理事・幼保連携型認定こども園すみよしこども園の園長を務めて今年で7年になります。自身の幼稚園教諭としての現場経験を活かしながら、職員が笑顔で過ごせる職場環境作りや主体的な子どもの育ちを尊重する保育・教育環境作りを目指し日々奮闘しております。

部会の活動としては、青年保育者部のメンバーは45歳までの園長や今後経営を担っていく会員で構成されており、これからの保育・教育、園経営について和やかな雰囲気の中で意見交換会や研修会を開催し、兵庫県内の横のつながりを深めながら経営や保育・教育について同世代ならではの悩みや今後の課題を分かち合い学びを深める時間を過ごしております。
兵庫県内で活躍されております45歳までの園長先生や経営を担われている方の、入会のお問い合わせを心よりお待ちしております。



総務委員会

（尼崎支部・いるか保育園園長）



委員長 梅本 誠
現在、兵庫県保育協会尼崎支部長として「子どもにやさしい尼崎」の実現をめざして会

員の皆様と協力しながら活動しております。日々の教育・保育を通して子どもを育ちを支えるとともに、子どもを取り巻く環境改善のため保育現場の力を結集し、尼崎市行政や関係機関に意見を届けたり対話したりしながら、あらゆる問題解決に努めております。

令和5年度より兵庫県保育協会総務委員長を拝命し、身が引き締まる思いを感じています。総務全般について円滑に運営し、協会と会員とが更に一体感ある強い組織となりますよう、また、協会の抱える課題の解決や重点目標の達成に貢献していくことができそうです。精一杯努めて参りたいと存じます。どうぞよろしくお願いいたします。

調査研究委員会

（豊岡支部・城崎こども園園長）



委員長 西垣 浩文
但馬地区豊岡支部城崎こども園の西垣と申します。浅学非才ながら今年度調査研究委員

会委員長の大役を務めさせていただきます。

います。日々身が引き締まる思いです。私は現在但馬地区長、豊岡支部長を務めています。また、園長を拝命し12年が経ちましたが園を運営するに当たり、情報の大切さをますます強く感じています。現在を把握し、今後を見通すためには鮮度の良い情報が必要です。そういう意味で調査研究委員会は協会に必要不可欠で重要な委員会だと考えています。ですからその調査内容や結果は内容によっては皆様の意思決定を大きく左右するものになりますので、精度の高い、園運営に寄与するよう委員会で慎重に審議していきます。

今年度および次年度は一連の調査として「園運営の現在と未来」への取り組み、お考えについてお聞きしたいと思っております。複数回に分けてアンケートをお願いすることになります。ご協力いただきますよう何卒よろしくお願ひ申し上げます。

研修委員会

（加東支部・東古瀬こども園園長）



委員長 中村 佳文
研修委員長を拝命いたしました加東支部の中村です。前年度までは一研修委員としてコ

ナ禍でのリモート研修について携わっており、前任の皆様様の「兵庫の保育を停滞させない！」という強い気持ちを受け継ぎ、精一杯努めさせていただきますのでよろしくお願ひいたします。アフターコロナとなりましたが、完全オンライン型、サテライト型、集合型と多様な研修実施方法は多くの会員にとって参加しやすい環境となりますので、今後も継続いたします。

各支部と連携し研修体系の見直しや、研修内容と対象者の明確化、魅力的な研修会の企画運営に努めてまいります。

会員の皆様には研修受講後のアンケートにてご意見ご感想をお寄せいただけますと幸いです。ご協力のほどよろしくお願ひいたします。

啓発広報委員会

（神崎支部・姫学こども園園長）



委員長 古角 孝之
4年前、年度当初の理事会で、前会長から「啓発広報委員会の委員長に空きが生じたので、その役を引き受けてほしい。」と言われ、いつもの悪い癖（後先をあまり考えない）で、「わかりました。」と答えたのが始まりでした。そんなわけですから、引き受けたものの何をするのかも全く分かっていませんでした。事務局から、主に保育協会の広報誌「てとて」と「兵庫の保育」等の発行に係る編集を行うことを知りました。恥ず

ちを受け継ぎ、精一杯努めさせていただきますのでよろしくお願ひいたします。

かしながら、これまでこれらの機関誌の内容もしっかり読んでいませんでした。こんな私に務まるのだろうかと思ひながら、各地区から推薦された委員や事務局の方々に支えられ、なんとか続けることができました。今では、啓発広報委員会の役割は、兵庫県保育協会の会員園の保育士(保育教諭)による保育・教育に係る日々の取り組みの様子を発信し、「各園の保育・教育の充実を図る」「保育士のさらなる資質能力の向上の一助とする」等にあることを強く実感し、その啓発広報に取り組んでいます。これからも「とて」と「兵庫の保育」の内容の充実を図り、また、これらの活用方策を考え、兵庫県保育協会の一役を担いたいと思います。



ほいくーる
兵庫県保育協会
は兵庫県から委託され、保育士・保育所支援センターを運営しています。

保育士・保育所支援センターの呼び名について、もっと親しみをもってもらえる愛称とロゴマークを全国に応募し「ほいくーる」という愛称とロゴマークが決まりました。
「ほいくーる」の愛称には、「(潜在保育士さんが)保育に(戻って)来る

(ように)」という願いが込められています。

また、ロゴマークには、「いちばん大きな顔が保育士さんで、小さな3つの顔が子どもたちを表しています。潜在保育士さんが保育現場に復帰するということを、顔の周りの戻る記号で表現しています。」文字にも丸みをつけることで、やさしくあたたかみのあるロゴマークになるようデザインされています。

「ほいくーる」の主な事業内容は求人者と求職者を繋ぐことですが、そのためには求人者・求職者の登録者数が増えないことには実績も上がらないので、現在はSNSを駆使して「ほいくーる」の知名度アップや潜在保育士や退職者への効果的なアプローチ方法を保育協会や県行政の方々と検討しています。

現在では「ほいくーる」の職員数も増え、保育士だけでなく保育補助・栄養士・調理師・事務員・用務員など、保育施設で働く様々な職種や働き方についてもマッチングできるように動いています。

「ほいくーる」は兵庫県の委託を受けた無料の紹介事業所なので、是非とも活用していただき、皆様と一緒に「ほいくーる」を育てていきたいと思っていますので、今後ともよろしくお願いたします。

2024年 主な行事予定

- 4月21日(日) 保育園・幼稚園・認定こども園合同就職フェア2024(神戸国際展示場)
- 5月30日(木) 定時総会
- 7月 4日(木)～5日(金) 令和6年度近畿ブロック保育研究集会(ウェスティン都ホテル京都)
- 8月31日(土) 兵庫県内認定こども園関係団体協議会研究会(神戸ポートピアホテル)
- 9月28日(土) 兵庫県保育大会(芦屋ルナ・ホール)

令和5年度請願署名・予対活動

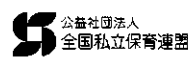
8月にご依頼していただきました予対活動協力金につきましては、1,373,484円のご協力をいただきました。ありがとうございました。上部団体等に次のとおり配分しましたのでご報告申し上げます。

- 兵庫県社会福祉協議会 409,000円
- 全国保育協議会 381,742円
- 全国私立保育連盟 582,742円

(署名人数)
内閣総理大臣宛 30,793人



[全私保連推奨] 各種団体保険制度



ほいくのほけん・
こどもえんのほけん

保育施設向け 4月1日～1年間(中途加入可能)

やくいんのほけん

Web加入可能

社会福祉法人向け 8月1日～1年間(中途加入可能)

えんじのほけん

Web加入可能

在園児向け商品 4月1日～自動更新(中途加入可能)

しょうがくせいほけん

Web加入可能

卒園児向け商品 4月1日～自動更新(中途加入可能)

取扱代理店 有限会社ゼンポ
TEL: 03-3865-3881
FAX: 03-3865-2806



引受保険会社 東京海上日動火災保険株式会社
担当課支社: 公務二部 文教公務室 TEL: 03-3515-4134

このチラシは、このご案内は施設賠償責任保険・生産物賠償責任保険・学校契約団体傷害保険特約付帯傷害保険・会社役員賠償責任保険・レピュテーション費用保険(レピュテーション費用特約条項付 費用・利益保険)・雇用関連賠償責任保険の概要・団体総合生活保険(傷害保険)の概要についてご紹介したものであり、全ての事項を記載しているものではありません。保険の内容は各保険制度のパンフレットをご覧ください。また、ご加入にあたっては、必ず「重要事項説明書」をよくお読みください。詳細は契約書である公益社団法人全国私立保育連盟にお渡しする保険約款によりますが、ご不明点がありましたら、取扱代理店または保険会社までお問い合わせください。 22TC-102447 2023年2月作成

令和5年度兵庫県保育大会を終えて

丹波篠山支部・富山こども園園長 中山義弘
(丹波地区長)



オープニング 丹波篠山楽空間(よさこいグループ)

令和5年10月28日(土)、特産物である丹波黒枝豆のシーズン真っ盛りの丹波篠山市の田園交響ホールにおいて、兵庫県保育大会が開催されました。本来ならば令和2年に開催される予定でしたが、コロナウイルス感染症という未だかつてない脅威により中止の年を重ね、実に3年ぶりの大会となりました。秋の丹波篠山は街を挙げての繁忙期、人と車でこった返すなかでご来場の皆様にご不便をおかけするのではと不安でしたが、無事にご来場下さった参加者の皆様が、お出迎え



主催者挨拶 片山安孝副知事

では地元元篠山のよさこい集団、楽空間のダイナミックで勇壮、かつアットホームで笑顔あふれるよさこいの舞は久々の保育大会の復活を告げるにふさわしい幕開けを彩っていただきました。式典では、味間認定こども園の澤美沙先生による児童憲章の朗読に始まり、伊達恵一保育協会会長の開会宣言の後、主催者挨拶では片山安孝副知事、そ



司会 熊谷奈美氏

の篠山のゆるキャラ、「まるいの」と地元ヒーロー「ササグロー」、そして丹波市の「ちーたん」と笑顔で記念撮影を楽しみ姿を見かけ、安堵いたしましたことを思い出します。司会に丹波篠山観光大使の熊谷奈美さんを迎え、オープニングアトラクショ

ンでは地元元篠山のよさこい集団、楽空間のダイナミックで勇壮、かつアットホームで笑顔あふれるよさこいの舞は久々の保育大会の復活を告げるにふさわしい幕開けを彩っていただきました。式典では、味間認定こども園の澤美沙先生による児童憲章の朗読に始まり、伊達恵一保育協会会長の開会宣言の後、主催者挨拶では片山安孝副知事、そして「創意工夫保育表彰」が授与され、伊達会長からは「永年勤続表彰」がその功績に対して授与されました。永年勤続表彰された先生方におかれましては心よりお喜び申し上げますとともに、これからも次世代を担う若い保育者を導いていただきますこと、子どもたちとその家庭を見守っていただきますことを切にお願い申し上げます。創意工夫展については、参加各園の珠玉の作品が多数出展されただけに、お預かりした身としてはプレッシャーを感じておりましたが、審査会から大会当日の展示に至るまで、丹波・篠山支部の参加園の先生方に多大なご協力を賜り、ご来場の皆様に各園の作品の魅力を十二分に伝えられたことと思います。高見仁志先生による記念講演では、軽快で楽しいトークと音楽で会場が一つになり、最後まで明るい笑顔が絶えない素晴らしいひと時を体験させてい

て地元丹波篠山市の酒井隆明市長の歓迎の言葉、続いて兵庫県県議会議長の内藤兵衛様、丹波篠山市議会議長の小島政行様よりお祝いのお言葉を頂戴いたしました。他にも兵庫県議会議員、丹波篠山市議会議員などご来賓の皆様がご祝いに臨席、ご登壇くださり盛大な式典となりました。続く表彰式では片山副知事から「創意工夫作品表彰」、「創意工夫保育表彰」が授与され、伊達会長からは「永年勤続表彰」がその功績に対して授与されました。永年勤続表彰された先生方におかれましては心よりお喜び申し上げますとともに、これからも次世代を担う若い保育者を導いていただきますこと、子どもたちとその家庭を見守っていただきますことを切にお願い申し上げます。創意工夫展については、参加各園の珠玉の作品が多数出展されただけに、お預かりした身としてはプレッシャーを感じておりましたが、審査会から大会当日の展示に至るまで、丹波・篠山支部の参加園の先生方に多大なご協力を賜り、ご来場の皆様に各園の作品の魅力を十二分に伝えられたことと思います。高見仁志先生による記念講演では、軽快で楽しいトークと音楽で会場が一つになり、最後まで明るい笑顔が絶えない素晴らしいひと時を体験させてい



講師 高見仁志氏



記念講演の様子

ただきました。ご参加の先生方におかれましては、今後の保育・教育に活かしていただければ幸甚に存じます。閉会式では私から次回開催地の阪神地区梅本誠地区長に大会旗がバトンタッチされ、芦屋支部の先生方の楽しいご挨拶で幕を閉じました。最後に開催までの長期に渡り、右往左往するばかりの私を物心両面で支えてくださりました県担当課の皆様、兵庫県保育協会の皆様、丹波・篠山支部の皆様、そして大会に携わっていただきました全ての皆様のご助力に衷心より感謝を申し上げます、次回開催地でお会いできるのを心より楽しみにご報告とさせていただきます。重ねまして、本当にありがとうございました。



閉会式

第35回保育士養成機関関係者と 兵庫県保育協会役員との情報交換会の開催

保育士・保育所支援センター ほいくーる

事務局長 富田 篤

令和5年12月13日(水) 18時から神戸三宮にある「神戸神仙閣」にて第35回目となる「保育士養成機関関係者と兵庫県保育協会役員との情報交換会」(以下情報交換会)を開催いたしました。

当日は、県内保育士養成機関から20名の関係の皆様にご出席いただき「保育士をめざす学生を増やすための養成校と協会との今後のあり方」をテーマに5つのグループに分かれて情報交換が行われました。参加者からは、だんだん保育を目指す学生が減ってきている原因は保育士になりたいという憧れ時代と就職が近づくにつれて実習でギャップが大きくなるこ



とや、親御さんや高校の先生が子どもの保育への進路を避けている現状があり、もっと現在の改善された労働環境

理事会 開催

8月31日に第253回、10月11日に第254回、12月19日に第255回理事会が開催されました。

第253回

- ① 賛助会員の入会について
- ② 正会員の入会について
- ③ 青年保育者部会会則の改正について
- ④ 保育人材確保対策貸付事業実施要綱等の改正について
- ⑤ 賛助会員の休会申し出に係る対応について
- ⑥ 調査研究委員会によるアンケート調査の実施について
- ⑦ 保育士・保育所支援センター運営委員会について

第254回

- ① 賛助会員の退会について
- ② 近畿ブロック保育研究会収支見込みについて

や条件をアピールする必要がありそうとの意見が出ました。引き続き、19時からは参加者による懇親会も開催され、打ち解けた雰囲気の中で自校のお悩みや、ご相談をされる参加者もおられ、有意義な歓談の時間を共有できました。参加者全員で、今回のテーマについては早期に継続的に双方が協力していく必要があることを改めて確認いたしました。

第255回

- ① 正会員の入会について
- ② 近畿ブロック保育研究会収支決算書について
- ③ 令和6年度事業実施方策の策定について
- ④ 発題等地区当番割当表について

新会員の紹介

令和5年度から協会正会員として入会された保育所・認定こども園、賛助会員として入会された業者を紹介いたします。

(第253回理事会承認)

社会福祉法人メルナースリー

施設名 兵庫之荘メルシー保育園

施設長 海野 由美

所在地 尼崎市武庫之荘5-35-2

定員 40名

社会福祉法人きぼう会

施設名 塚口オリーブ保育園

施設長 吉津 知未

所在地 尼崎市南塚口6丁目1番12号

定員 90名

賛助会員

日本テクノ株式会社

代表者 馬本 英一

所在地 東京都新宿区西新宿1丁目25番1号新宿センタービル

53階

取扱商品 法人向け電力小売

(第255回理事会承認)

株式会社nexus

施設名 memorytree 明石保育園

施設長 吉川 晴美

所在地 明石市藤江字中谷939番1

定員 76名

発行 公益社団法人兵庫県保育協会 啓発広報委員会

神戸市中央区坂口通2丁目1-1 兵庫県福祉センター

TEL (0778) 24214623

FAX (0778) 24211399

ホームページアドレス https://www.hjogo-hokutsuokai.or.jp/

